

No.59

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会



〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

奈良市議会だより



青少年野外活動センターで自炊(済美小学校の児童たち)

5月臨時会、6月定例会

議長に横井健二氏を選出 副議長に横井健二氏に峠宏明氏

四月の市議会議員選挙後、初めての議会となる臨時会は、五月十九日から二十六日までの八日間の会期で開きました。この議会では、議長、副議長の選挙を行い、議長に横井健二氏、副議長に峠宏明氏を選出しました。このほか、常任委員会の委員の選任などを行い、予定の会期を繰り上げ、二十一日に閉会しました。また、六月定例会は六月二十一日に八日間の会期で開き、市長から提出された二十七議案をすべて原案どおり可決し、八人の議員から提出された議案「組織的犯罪対策関連三法案に反対する意見書の提出について」は、否決しました。

就任のあいさつ



議長 横井 健二



副議長 峠 宏明

市民の皆様には、平素から市議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、奈良市は、市制一〇一年目を迎え、次の一〇〇年に向けて新たな一歩を踏み出しましたが、国内の景気が低迷を続け、本市の財政事情も大変厳しい状況にあります。そのような中で、本市では、徹底した行政改革を推進しつつ、限られた財源の有効活用を図り、市民福祉の向上に努めながら、介護保険制度の導入に向けた取り組みや、地方自治法の改正により指定が見込まれる中核市への推進体制の整備が図られているところであります。

市議会といたしましても、中核市検討特別委員会と介護保険特別委員会を新たに設け、あらゆる角度から調査、検討を行い、奈良市の更なる発展に向かって取り組んでまいり所存でございます。

これからも、全議員が一丸となり、市民の皆様の負託にこたえるため、更に円滑な議会運営に努め、議決機関としての使命を果たしてまいりたいと存じますので、市民の皆様には、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

福祉

来年4月に実施できるか

介護報酬など国で未決定

問 平成十二年四月の介護保険実施に伴う事業計画作成の進捗状況と今後の予定は。また、介護サービスの質は、どのようにして確保するのか。

答 介護保険事業計画作成委員会は、昨年十一月と今年六月の二回開催された。事業計画作成の基本指針が国から示されたのが五月十一日で、この指針に基づき、決めていかなければならない事項は多く、今後、期間を詰めて委員会を開催していただく。市として、実施に向け準備は進めるが、介護報酬など国で決まっていないものもあり、来年四月に実施できるか心配している。

サービスは、多様な事業者の参入により、競争が発生し、質の向上が図られるので

はないか。また、市町村も、指定業者を指導・助言できるので、県、県国保連合会とも連携し、質の高いサービスの確保に努めたい。

地域福祉はボランティアで

あらゆる分野で育成を

問 二十一世紀は福祉の時代といわれている。地域で福祉を支えていくのは市民の自

主的・自発的な力である。ボランティアはその具体的な現れである。市民参加の一つとして、あらゆる分野でのボランティアの育成が重要になってくる。ボランティア育成の考えは。

答 現在、奈良市ボランティアセンターで、約八十グループ、二千四百四十六人がボランティア登録し、福祉・教育・災害・観光・通訳ボランティア等、多方面に活動いただいている。今後ともボランティアセンターを中心として積極的に市民参加を呼びかけていきたい。

勤労者の融資制度を失業者の生活支援に

問 失業者の増大などで、勤労者の生活支援が求められている。勤労者のための融資制度が必要ではないか。

答 現在、市では福祉、教育分野などにおいて融資、給付制度がある。また、奈良市の会員の福利厚生等互助事業

教育

高齢者と触れ合う場に余裕教室の有効活用

問 少子化に伴う児童生徒数の減少により生じた余裕教室を、地域の高齢者と子供たちの触れ合いの場として活用すれば、高齢者の生きがいの創造などに有効に作用するのではないか。

答 現在、地域のお年寄り

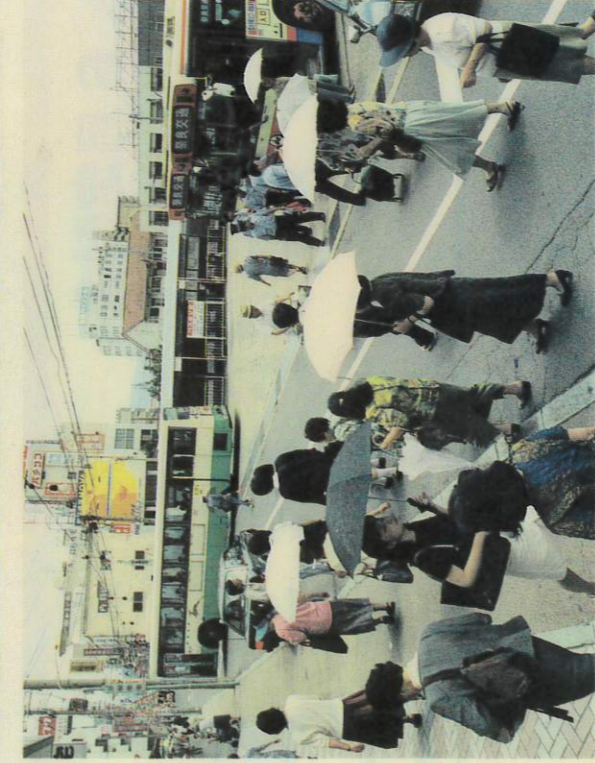
西大寺駅北地区 再開発事業中止

代替手法検討急ぐ

問 近鉄西大寺駅北の再開発事業は、三月に県の公共事業評価監視委員会の答申を受け、市は中止決定した。しか

で医療費、教育費等の融資制度への助成を行っている。新たな勤労者の融資制度の創設は、今のところ考えていない。今後の経済情勢、景気動向の推移を注視していきたい。

都市整備



整備方法が検討される西大寺駅北地区

し、再開発をやめても、駅前広場や道路等の整備は必要である。どう対応するのか。

答 県の公共事業評価監視委員会で、近鉄西大寺駅北地区市街地再開発事業の中止が承認されたが、その際も別の整備計画の早急な策定を指摘

されている。近鉄西大寺駅周辺は奈良の副都心として重要であると考え、代替の整備手法の検討作業を急いでいる。駅前広場の整備のほか、鉄道で分断されている南北市街地の連絡等も含め、様々な手法を検討し、整備計画を作りたい。

と給食の時間を共にしたり、野菜作りを教わったり、昔の遊びを楽しむなど具体的な実践活動の取り組みもある。今後、学校・園の状況や特色を生かしながら、高齢者との触れ合いを深める場として、余裕教室を有効に活用していきたい。

学校・園の対応は登校後の警報発表

問 登校後に大雨等警報発表があった場合、すぐに下校

するより、学校で待機していた方が安全な場合がある。学校・園の対応は。

答 登校後に、大雨等の警報が発表された時は、学校は教育委員会と連絡を取り合い、臨時休業等の必要な措置をとるとともに、気象状況を考慮し、校区周辺の状況等を確認した上で、状況に応じて家庭との連絡を密にし、学校待機など適切な措置を講じるように指導している。今後も児童生徒に一層配慮した学校・園での措置を指導していきたい。

5月臨時会

五月臨時会では議長、副議長の選挙や四常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の委員の選任（委員名は四面参照）、北和都市連合交通災害共済組合議会議員の選挙、議員から選任される監

査委員の選任同意などを行いました。

◎北和都市連合交通災害共済組合議会議員の選挙

堀田征男議員、橋本和信議員が当選しました。

◎監査委員の選任

議員から選任する監査委員に、榎木義秀議員、金野秀一議員の選任に同意しました。

6月定例会

◎中核市検討・介護保険の二特別委員会を設置

地方分権一括法が成立し、中核市の指定要件になっていた昼夜間人口比率の規定が削除され、奈良市も中核市の対象となります。

中核市に指定されると、保健所業務など約二千件もの県の事務が市に移譲されることになり、市民サービスの向上が期待されます。また、平成十二年四月から介

護保険制度が実施の予定となっています。いずれも、市は、準備室を設け、諸準備を進めています。議会においても、中核市の指定促進や介護保険実施の課題などについて、あらゆる角

度から調査、検討するため、それぞれ十四人の委員で構成する中核市検討特別委員会と介護保険特別委員会を設置しました。（委員名は四面参照）

◎農業委員に五人を推薦

七月十九日が任期満了の農業委員会の委員に、次の五人を推薦しました。

- 山口誠氏 池田慎久氏 上原尚氏 船越義治氏 横田利孝氏

◎人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員の候補者として、次の十人を推薦することに同意しました。

- 野田樹氏 高村賢一郎氏 今中奈良男氏 西塔京子氏 阪本裕保氏 中西康雄氏 丸谷君雄氏 吉田定男氏 岡田幸子氏 山本珠子氏

3 議員に表彰状 全国市議会議長会

六月二十三日、東京で開かれた第七十五回国市議

会議長会定期総会で、次の三人が表彰を受けました。

議員二十年以上特別表彰

松石聖一議員

中西義次議員

議員十年以上表彰

原田栄子議員



再生資源の分別収集

清掃

焼却炉の負担軽減 全市一斉のごみ分別で

問 三月から実施している全市一斉の分別収集によるごみ処理の現状は。

答 従来の燃やせないごみ、燃やせるごみの中に混じっていたものが分別収集により、適正処理することで焼却炉への負担が軽減されることになった。さらにプラスチック系を除外することで焼却効率も上がると同時に、炉の損傷も少なくなると見込んでいる。市民の協力がなければ、ごみの適正処理はできないので、一層PRに努めていきたい。

分別を徹底すれば、家庭では、その他プラスチックが一番多く排出されるので、これ

を現行の二週間に一回から一週間に一回の収集にする。八月実施をめどに準備している。

その他プラスチック リサイクルの方針は

問 本市が分別収集しているその他プラスチックは、奈良阪緊急時一般廃棄物最終処分場で埋め立て保管されているが、処分場の埋め立て容量はあとわずかである。その他プラスチックのリサイクルなど、今後の対応は。

答 その他プラスチックについては、焼却によるダイオキシン類の発生を抑制するための緊急対策として埋め立て保管しているが、リサイクルや減容化して保管する方法等を検討中である。現在、厚生省が、国指定の法人による引き取りのガイドラインの作成を進めており、容器包装リサ

イクル法に則したりサイクルシステムが確立され次第、本市でも、経費等を検討しリサイクルを実施していきたい。

行政姿勢

市独自の地域振興券

15歳以下の子供のいる外国人世帯に

問 外国人登録者の十五歳以下の子供がいる世帯主に地域振興券を交付する市独自の事業内容は。

答 国際文化観光都市である本市では、同じ地域社会で学び集うすべての子供たちの世帯主しかも、これらの方々は納税義務を有しておられるので分け隔てなく、公平に権

利を行使してもらえるようにとの思いから、市独自の地域振興券を交付する。交付対象者は、一月一日に国内で外国人登録原票に登録があり、国の交付基準に該当しない十五歳以下の子供のいる外国人の

環境

測定地点の増を 環境清美工場の ダイオキシン

問 先頃、市内二カ所で測定した一般環境の大気中のダイオキシン値の調査結果が公表された。百楽園の西部大気汚染測定局と西木辻町の青少年児童会館の二カ所の測定地点の選定はどのようにしたのか。これとは別に環境清美工場では直近だけで測定しているが、煙突から出るダイオキシンは風によって運ばれるので実態に即した測定をする必

要がある。測定地点を、同工場から一、二、三キロメートルと増やすべきではないか。

答 二カ所の測定地点は国のダイオキシンリスク評価検討報告書と近府県の選定状況を参考に、県と協議し決定した。一般環境中で発生源から三キロメートル以



ダイオキシン測定場所の左京固定観測局 (後ろは環境清美工場の煙突)

市民の生活を最優先に対処

ガイドライン法の協力要請に

問 ガイドライン法により地方自治体も国の米軍支援助への協力を求められること

になる。協力要請があった場合、どう対応するか。

答 周辺事態法(ガイドライン法)に基づく協力要請の内容については、政府の例示した項目等について国等関係機関からの説明がないため、現時点では詳細が分からないが、法治国家である以上、法の定める範囲内は要請に従わなければならないと考える。

市民の生活を最優先に考慮し、市長の権限の範囲内で適切に対処したい。

多様な市民要望に どう対応するか

問 市は、中核市の指定に向けた取り組みをしているが、多くの権限の移譲により市民サービスをどのようにするかなど、様々な問題を抱えている。地方分権が本格化する中で機構改革、人材の確保や能率の向上、観光の活性化、情報公開など多様な市民要望にどのようにこたえていくのか。

答 地方の時代を迎えることにより、何よりも住民直結の行政をしなければならない。

そのため、何が問題で何を処理しなければならないかを、常に心に置いて行政を推進している。財政や組織を見直し、全職員が合理的に考えられる判断力を持つと同時に、簡素化、効率化していかなければならない。観光の活性化は、近畿圏において、二十一世紀初頭にユニバーサルスタジオジャパンやサッカーワールドカップの開催、オリンピックの開催誘致、遷都一三〇〇年祭などの事業が動き出す。今後、大阪等と共同して観光客

その他の主な質問事項

- 百周年都市との交流
- 外国人市民との懇談会
- 申請書への西暦記載
- 地方分権一括法案
- 地方分権と中核市指定
- 平成十一年度の防災訓練
- 巨木を語る全国フォーラム
- チャイルドシートの導入に際しての市の対応
- パーク・アンド・バスライド実施のPR等
- バイロジ―運動の推進
- 平成十年度決算の剰余金
- 個人情報保護対策
- 国立奈良病院の統廃合
- 男女共同参画社会形成
- 地対財特法期限後の回行政
- 介護保険と障害者
- 要援護高齢者等実態調査
- 要介護認定
- ごみの分別指導
- 食品トレーのステーション回収
- 家庭ごみの有料化
- 修学旅行生の誘致策
- 世界遺産登録後の観光振興策
- 学校農園・市民農園
- バリアフリー道路の整備
- 駐車場案内システム計画
- 公共施設の市への帰属
- まちづくりリーダーの育成等
- 正強学園跡地の土地利用
- 近鉄西大寺駅周辺の鉄道立体化
- JR連立事業の用地買収等
- 大和中央道の進捗よく
- 三松一丁目の市道陥没
- 学校におけるゆとりの時間
- 学校・園活性化対策事業
- ボランティア教育
- 学級崩壊の現状
- 学校給食食器等
- 学校・園の施設改善
- Jリーグの誘致等

議会の情報を公開

奈良市議会では、情報公開を実施しています。開示申請に当たつての詳しいことは、議事事務局(☎三四一四七三三)までお問い合わせください。

誘致に取り組みたい。情報は、十月に市が開設するホームページの持つ特徴を生かした提供を行いたい。

新しい議会の構成

()内は所属会派名

経済水道委員会



土田敏彦
議長
中核市情報公開審査会委員
市議会(政友会)



矢野兵治
副議長
中核市情報公開審査会委員
市議会(無所属)



大井国崇
副委員長
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党)



原田栄子
委員長
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



黒川恵三
中核市情報公開審査会委員
中核市情報公開審査会委員
市議会(社会民主党市議団)



上原 隼
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



榎木秀義
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



大橋雪子
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党)



橋本 和信
中核市情報公開審査会委員
市議会(政友会幹事長)



横田利孝
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団幹事長)



堀田征男
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)

総務財政委員会



高杉美根子
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党)



松村和夫
中核市情報公開審査会委員
市議会(民主市民連合)



中村篤子
副委員長
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



大谷 督
中核市情報公開審査会委員
市議会(無所属)



吉田文彦
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



峠 宏明
副議長
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



金野秀一
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党)



山口裕司
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



横井健二
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



和田晴夫
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



浅川清一
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会幹事長)

企画建設委員会



西本守直
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



森田一成
中核市情報公開審査会委員
市議会(政友会)



山口 誠
副委員長
中核市情報公開審査会委員
市議会(民主市民連合幹事長)



船越義治
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党幹事長)



松石 聖一
中核市情報公開審査会委員
市議会(社会民主党市議団幹事長)



森 純男
中核市情報公開審査会委員
市議会(無所属)



山本 清
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



矢追勇夫
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)

教育厚生委員会



中木良夫
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



藤本孝幸
中核市情報公開審査会委員
市議会(民主市民連合)



松田末作
副委員長
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



岡田佐代子
委員長
中核市情報公開審査会委員
市議会(社会民主党市議団)



蔵之上政春
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



池田慎久
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



松岡克彦
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



高橋克己
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党)



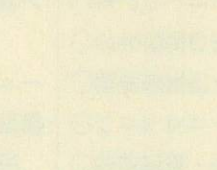
中村重信
中核市情報公開審査会委員
市議会(政友会)



米澤 保
中核市情報公開審査会委員
市議会(交政会)



日和佐穰甫
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



中西義次
中核市情報公開審査会委員
市議会(無所属)



小林照代
中核市情報公開審査会委員
市議会(日本共産党市議団)



岡本志郎
中核市情報公開審査会委員
市議会(公明党)